

日本キリスト教団 洲本教会
元旦礼拝（自主礼拝）

2021年1月1日（金）
午前11時

*それぞれに下記の順序で静かな時を過ごし、
お祈りをお捧げください。

聖書 ローマの信徒への手紙
12章9～15節(新.p292)

◆キリスト教的生活の規範

- 9:愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、
10:兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。
11:怠らず励み、霊に燃えて、主に仕えなさい。
12:希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。
13:聖なる者たちの貧しさを自分のものとして彼らを助け、旅人をもてなすよう努めなさい。
14:あなたがたを迫害する者のために祝福を祈りなさい。祝福を祈るのであって、呪ってはなりません。
15:喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

讃美歌 21 368番、456番

宣教 「希望をもって」 宮崎牧師

みなさま 2021年明けましておめでとうございます！
みなさまの上に神さまの平安をお祈りいたします。
コロナ禍はまだまだ続いていくと思われませんが、今年も主からの希望をいただき、希望をもって生きて行きたいと思います。

さて、聖書個所の小見出しには「キリスト教的生活の規範」とありますが、キリスト者の生活のあり方について伝道者パウロは語っています。

「9:愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、 10:兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。」
キリスト教は「愛の宗教」だと言われますが、この愛は、神さまの愛、イエスさまの愛に根づいています。それを知った者たちは互いに愛し合う、互いに大切にしようのです。

愛には打算やごまかしや、混じりけがあってはならないのです。愛は純粹なのです。

この愛が教会員同志の交わりを真実にし、交わり、つまり教会を育てて行くのです。

しかし母親の子どもに対する愛情は、神さまの愛に一番近いと言われますが、完全に一致しているわけではないようです。教会内の人との関係も実際にはいろいろと難しいことがあるのです。様々ないざこざが現実にはあります。

パウロは言います。

「12:希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。」と。

わたしたちは困難が多い人生を送る上で大切なことは希望を持って生きることだと思います。人生における苦難や悩みは絶えることはありません。どんなに強い人も健康に気をつけている人も最後は死を迎えます。最近知ったことなのですが、活躍した野球選手の桑田真澄投手は、「現役時代は風邪をよくひいていた。」そうです。「『鍛えているから強い。』は錯覚」とも言っています。心に残ることばでした。もちろん体に気をつけたり毎日散歩することなどは心身に良いことだとは思いますが。

新約聖書で言われている希望は、わたしたち人間の神さまから離れた罪の贖いのためにイエスさまが十字架に痛みを負い、血を流し、命を捧げてくださり、三日後に復活されました。それ以後、わたしたちには復活に与る希望が与えられているのです。この希望を知った者、与えられた者が、人生がいかにも苦しくても耐えて生き抜いて行くことができるのです。そしてこの世のことに関わりながら一日一日を心落ち着けて生きて行こうとするのです。最後に与えられる平安があります。あせらず、苛立たず生きていけるのです。もちろん困難や病気になることもあり、不安な時もありますが、主イエスさまにある希望の光があるので生きていけるのです。このことは神さまからイエスさまによって与えられたプレゼントなのです。希望の光はどんな闇の中でも消えないのです。

今年もコロナ感染拡大がどうなるのか、不安と怖れはあります。何が起こるかは分かりませんが、今年も主イエスさまにある希望の光は消えないのです。

どんな時でも主イエスと神さまは共にいてくださるのです。何と心強いことでしょうか。

希望をもって勇気をもってこの一年を歩み出しましょう。

<お知らせ>

☆ 新年礼拝

1月3日(日) 午前10時30分

聖書：使徒言行録3章1～10節

宣教：「生きて行く支え」 宮崎達雄牧師

(聖餐式は1月10日(日)に行われます。)

